

チーム学校の実現に向けた地域の在り方について

1. 経緯

学校が組織全体の総合力を高め、発揮していくための学校運営の在り方等について、初等中等教育分科会に「チームとしての学校・教職員の在り方に関する作業部会」が設置され、検討が行われることになったことに伴い、地域の側から学校教育にどのように関わっていくべきか等について、多様な観点から調査研究を行っている。

2. 調査研究における主な検討事項と論点案

<総論>

(1) 子供たちの教育のために地域が果たすべき役割について

○教育において、地域が果たす役割は何か。(学校・家庭との役割分担も含めて)

○学校をとりまく課題が複雑化・多様化するなか、学校と地域等との連携の在り方について、どのように考えるか。

○学校を核とした地域づくりが地域創生に果たす役割をどう考えるか。

<具体的方策>

(2) これからの学校支援地域本部の在り方について

○今後の学校支援地域本部の役割や位置づけ(放課後対策・土曜日の教育活動等を含む)をどう考えるか。(制度的措置も視野に)

○学校支援地域本部の役割や効果を踏まえたコミュニティ・スクール(学校運営協議会)との一体的推進の在り方をどう考えるか。

○学校支援地域本部の内容の充実・全校設置に向けた国の支援の在り方をどう考えるか。

(3) 学校及び地域における社会教育主事有資格者の活用の在り方について

○学校と地域をつなぐ地域コーディネーターや、学校において地域連携を担当する教職員の配置の在り方をどう考えるか。

○社会教育主事の有資格者の活用の在り方、学校等への配置の仕組みの在り方をどう考えるか。

(4) その他